

文部科学省委託「高等学校における教育の質確保への対応のための調査研究」

－調査結果概要－

【調査研究の概要】

- ・今後の議論・検討を一層進めるための現状把握を目的として、都道府県が策定する高等学校改革に関する計画を調査
- ・高等学校改革の推進に関する施策の実施状況、目標設定や効果検証の状況等を把握

調査方法

①書面調査	②インタビュー調査
<ul style="list-style-type: none"> ■調査対象とする計画を洗い出し ■対象とする計画について、掲げられている施策の内容等を調査 ■調査テーマごとの傾向等を整理 	<ul style="list-style-type: none"> ■特徴的な取組を行う都道府県に対して、インタビュー調査を実施し取組の詳細を把握

【①書面調査】

- ・各都道府県が策定する高校改革に関する計画を対象に、全体方針・計画、特色化・魅力化、適正規模・適正配置、入学者選抜、多様な背景を有する生徒への支援の5テーマで調査を実施

テーマ	テーマごとの傾向
全体方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 国が示す資質・能力に関する内容に加え、生徒数減少への対応、地域との連携による教育の充実化や地域人材の育成等に関する方針の記載が確認された
特色化・魅力化	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 学校方針の明確化、探究的な学びの充実、地域に根差した学びの充実、国際教育やキャリア教育の充実、ICT活用による教育活動の充実等を掲げる傾向が見られた
適正規模・適正配置	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 生徒数の減少や社会の変化への対応により、適正な学級数や学級あたりの生徒数、再整備の検討条件を検討する傾向が見られた
入学者選抜	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域の実態の変化に応じた入学者選抜の実施方法等の見直し（特別入試枠の設置、多様な能力や意欲の評価等）に関する記載が確認された
多様な背景を有する生徒	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 多様な背景を有する生徒（障害のある生徒、外国人生徒、不登校経験のある生徒等）に対して、校内外の支援体制の整備・強化、学校の在り方の見直しや新しいタイプの学校の設置等の施策が掲げられていた

【②インタビュー調査】

- ・調査テーマごとに特徴的な取組を選定し、各都道府県教育委員会にインタビューを実施。あわせて、「高校生のための学びの基礎診断（以下、学びの基礎診断）」の取組状況についても調査を実施

テーマ	インタビュー内容（概要）
全体方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 社会変化に対応した実行計画の策定や、地方における教育格差の解消を目指す取組が確認された - 例：10年計画に基づく実施計画の策定（宮城県）、中山間地域等の小規模高校における遠隔授業等の活用（高知県）
特色化・魅力化	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 複数の専門学科を統合した学校や、自分のペースで学習できる学校の設置、さらに地域の高等教育機関や地元企業と連携した教育カリキュラムの開発・提供に取り組む様子が確認された - 例：未来共創型専門高校やフレックスハイスクールの設置（栃木県）、全日制専門学科における職業教育（山梨県）
適正規模・適正配置	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自治体の定める適正規模の基準、通学圏、普通学科・専門学科の割合等を考慮しつつ、地域の人々と意見を交換しながら、再編整備を検討する傾向が見られた - 例：適正な学校規模の確保（栃木県）、再編基準および検討プロセスの設定（長野県）
入学者選抜	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 前期選抜に加え、後期選抜に面接を導入し、主体的に学ぶ態度を確認する自治体や、不登校生徒や外国人生徒に対して特別選抜を実施する自治体を確認された - 例：後期選抜での面接導入（長野県）、不登校生徒や外国人生徒に対する特別選抜制度（山梨県）、外国人生徒特別枠（兵庫県）
多様な背景を有する生徒	<ul style="list-style-type: none"> ➢ インクルーシブ教育や外国人生徒への日本語指導の推進、さらに不登校経験のある生徒への支援を充実化する取組が確認された - 例：インクルーシブ教育の推進事業・プログラム（宮城県）、日本語指導教員の配置（栃木県）、京都フレックス学園構想に基づく新設高校の開校（京都府）
学びの基礎診断	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自治体により方針は異なるものの、基礎学力の定着に向けて学校ごとにPDCAサイクルを回す取組や、県全体における基礎学力の状況を把握する取組が確認された - 例：県全体における基礎学力の実態把握および各校での振り返りの促進（長野県、高知県）